

名取市内2つのダム（樽水・川内沢）の利活用に向けた検討を開始

～令和8年度の川内沢ダム完成を見据えた勉強会を開催～

名取市では、令和8年度に予定されている川内沢ダムの完成により、市内に「樽水ダム」とあわせて2つのダムが所在することとなります。これら2つのダムを地域の大切な資源と捉え、観光やスポーツ、地域振興にどう活かしていくかを検討するため、県と市の関係部署による利活用勉強会を開催いたしました。

1. 開催の背景と目的

川内沢ダムの完成を機に、ダム周辺の公園整備や道路改修（道祖神愛島台線等）が進んでいます。これら周辺事業と連携し、既存の樽水ダムを含めた「ダム周辺の賑わいづくり」の可能性を庁内外横断的に模索することを目的としています。

2. 出席機関

本勉強会には、インフラ管理・都市整備・観光・環境の各部署が参加しました。

宮城県：土木部河川課、仙台地方ダム総合事務所

名取市：生活経済部（商工観光課、環境共創課）、建設部（土木課、都市計画課）

3. 内 容

【情報共有】

○2つのダムの概要

○ダム周辺の道路・公園整備概要

○宮城オルレ造成計画、里山について

○ダムの湖面利用の一般的ルールについて

【事例紹介】

○県内ダム利活用事例 ○全国直轄ダムの利活用事例

4. 今後の進め方

勉強会で出された意見や課題（駐車場の確保や利用ルールの策定など）を踏まえ、各担当部署にて実現可能性を精査し、継続的に勉強会を開催しながら、ダムの利活用について検討して参ります。



樽水ダム



川内沢ダム（1月末の工事状況）
（仙台地方ダム総合事務所HPより抜粋）

【担当】名取市建設部土木課
遠藤・伊藤 TEL：022-724-7126
※不在の場合は折り返しご連絡します。